

2026年6月30日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 宮田 裕彦
(コード番号 6269 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画部 広報グループ
(TEL. 03-5290-1240)

当社グループ保有「FPSO Cidade de Niterói MV18」チャーター及び O&M サービス終了のお知らせ

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役 社長執行役員:宮田 裕彦)は、当社グループが保有する FPSO Cidade de Niterói MV18 が、ブラジル沖合の鉱区での撤収作業を完了し、チャーター及び操業・保守(O&M)サービスを2026年5月8日に終了したことをお知らせします。その後、本 FPSO は船舶リサイクルのため、曳船されてデンマークの船舶リサイクル施設へ到着しました。

本 FPSO は、ブラジル国営石油会社 Petróleo Brasileiro S.A.よりブラジル沖合 Campos 海盆内に位置する Marlim Leste 鉱区向け浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備(FPSO)として、設計・調達・建造・据付(EPCI)の一括工事を請け負いました。2009年2月の操業開始以降は、当社が本チャーター及び O&M サービスを提供し、おおよそ17年間で累計約1億5,900万バレルの原油を生産したことになります。

今後、本 FPSO は EU 船舶リサイクル規則(EU SSR)及び「2009年の船舶の安全かつ環境上適正な再生利用のための香港国際条約(通称:シップリサイクル条約)」に準拠し、環境と安全に十分に配慮しながら、デンマークの施設で船舶リサイクルを実施する予定です。

当社は本サービス終了後も、世界各地で多数の FPSO/FSO の O&M を提供中です。引き続き、EPCI から O&M まで一貫して担う総合力と現在建造中の FPSO 4 基を含む長年の実績を強みに、FPSO 業界のリーディングカンパニーとして、エネルギーの安定供給に貢献してまいります。

三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発(MODEC)は、海洋エネルギー分野における浮体式生産設備の提供で世界有数の企業です。FPSO(Floating Production, Storage & Offloading system:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)をはじめ、設計・調達・建造・据付(EPCI)サービスを提供するとともに、FPSO の保有・運転も行い、世界各地で総合的かつ競争力のある生産設備の提供と運転を担っています。SOFEC® Mooring Solutions は MODEC の製品ブランドであり、オフショアエネルギー分野において、安全性・信頼性・革新性に優れた係留システムを提供しています。
<https://www.modec.com/jp>